

## 会議結果報告書

令和6年11月25日

1 会議日時	令和6年10月23日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	持続可能な学校づくり事業
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、財政課長、学校教育課長、政策推進課関係職員
5 会議結果	<input type="checkbox"/> 案のとおり決定する <input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する <input type="checkbox"/> 継続して検討する <input type="checkbox"/> 案を否決する <input checked="" type="checkbox"/> 報告を了承する
6 会議内容	<p>・STEAM 教育+G の進め方については全市的な展開を考えているのか。</p> <p>→特別交付税の対象となる地域活性化企業人材制度の3年間はSTEAM 教育の専門家のサポートを受け、以降は自立を目指す。まずは城川から全市への取り組みにつなげたい考えである。</p> <p>・山村留学について</p> <p>→国も推進しているSTEAM 教育と山村留学を組み合わせ、教育方針として、魅力ある教育と組み合わせ、山村留学で児童を呼び込みたい考えである</p> <p>・新規事業として取り組むのであれば、既存事業予算も含め、全体の予算の中での調整も必要である。</p>

備考：会議内容を簡潔に記載すること

1 件名	持続可能な学校づくり事業									
2 目的	市内義務教育諸学校の教育環境の充実及び関係人口の増加による地域経済の維持、発展を目的とする。									
3 効果	Uターンや関係人口の増加を促進するとともに、人口減少と多様化が進む社会の中で、子供たちが主体的に生き抜く力を着けることに期待ができる。									
4 現状と課題	<p>人口減少とともに、市内小中学校の児童生徒数も減少の一途をたどっている。少子化が教育に及ぼす影響として下記のような点があげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切磋琢磨の機会の減少</li> <li>・子育ての経験や知識の伝承が困難となる。</li> <li>・学校行事や部活動が困難となる。</li> <li>・競争心が希薄になる。</li> </ul> <p>併せて、関係人口の減少は経済活動の衰退にもつながります。</p>									
5 対応	西予市外に住む孫等が市内に住む祖父母のもとで生活し、市内学校へ通学することを推進します。併せて、近年国や県が推進しているSTEAM教育を取り入れるとともに、西予市の重要な資源であるジオパークを活かした西予市独自の教育プラン「STEAM+G教育」の構築を目指します。									
6 スケジュール	令和7年4月～令和10年3月									
7 関係法令等	-									
8 関係課	教育総務課、まなび推進課、経済振興課、まちづくり推進課									
9 予算関連	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">款</th> <th style="text-align: center;">項</th> <th style="text-align: center;">目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td></td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> </tbody> </table>	款	項	目	総事業費		千円	特定財源		千円
款	項	目								
総事業費		千円								
特定財源		千円								
10 総合計画の位置づけ	<p>政 策)ひとづくり  施 策)学校教育の充実  基本事業)</p>									

	事務事業名)
11 その他	

# 持続可能な学校づくり 推進事業

---

STEAM教育+G  
山村留学

# 昨年度の提案内容

人口減少対策事業案【再検討】						戦略会議での理事者及び部長の評価、 およびPTリーダーによる評価	
	事業名【部会名】	実施内容	スケジュール			分野	評価
			R6 (千円)	R7 (千円)	R8 (千円)		
4	持続可能な学校づくり事業 【教育部】	西予市の重要な資源であるジオパークと地域の教育力を活かしながらSTEAM教育を取り入れ、新しい西予市独自の学校教育プラン「四国せいのジオ教育」を構築し、子どもたちが自らやりたい・やってみたいを見つけて、人口減少と多様化が進む社会の中で主体的に生き抜く力を育む土壌となり、西予市が「誰もが暮らしやすい共生社会」となることを目指す。「四国せいのジオ教育」は基本的に1年単位のカリキュラムを想定し、山村留学制度も設けるが、より幅広いニーズに応えるため、体験版として移住促進を視野に入れた短期留学メニュー「四国せいのジオ留学ぷらす」用意	4,817	32,997	38,780	教育	<p>持続可能な学校づくり事業</p> <p>— 部長 — リーダー</p> <p>着眼点</p> <p>費用対効果</p> <p>職員の負担が少ない</p> <p>実行可能性</p> <p>創造性と新規性</p> <p>規性</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p>
		教育カリキュラムプログラムの構築 他 委託料（高校魅力化コンパ料参照）3,157千円 謝金 360千円 施設整備 1,300千円		教員研修 施設改修 体験入学 他 委託料 6,787千円 体験入学 150千円 施設整備25,700千円 謝金 360千円	新カリキュラム、プログラム実践 山村留学運営 委託料 3,630千円 職員給料 4,000千円 山村留学 20,000千円（施設維持管理・事業費） 体験入学150千円 職員雇用配置 11,000千円		

## 【理事者及び各部長からの自由意見】

- 費用対効果が乏しい。
- 教育事業者において、G教育の意図を十分に理解して頂き推進する必要がある。

事業名	持続可能な学校づくり推進事業	新規
-----	----------------	----

分野	教育	部会名	教育部
現状・課題	少子化に伴う児童生徒の多様な学習機会の減少や人間関係の希薄化、人口減少		
対 象	市内児童生徒及び県外に孫等がいる市内住民（祖父母）		
実施内容	<p>近年、国や県が推進しているSTEAM教育を取り入れ、西予市の重要な資源であるジオパークを活かした西予市独自の教育プラン「<b>STEAM+G教育</b>」を構築します。STEAM+G教育により、教育の魅力化を推進することにより、Uターンや関係人口の増加を促進します。</p> <p>教育の魅力化と併せて<b>県外に住む孫が市内に住む祖父母のもとで生活し、市内諸学校へ通学させることを奨励します。</b>実践家庭への支援策として、子供たちの食費相当の奨励金（月3万円）を支給します。</p> <p>山村留学と教育の魅力化を併せて推進することにより、人口減少と多様化が進む社会の中で子供たちが主体的に生き抜く力を育む土壌をつくり、西予市が「誰もが暮らしやすい共生社会」となることを目指します。</p>		
期待される効果	Uターンによる移住定住の促進／関係人口の創出／ふるさと納税の増額／学校の存続／郷土愛の醸成 県立高校の存続／ジオパークの活用／三世代教育の推進(祖父母から学ぶ家庭教育)／共生社会の実現		
担当課・連携課	学校教育課・教育総務課・まなび推進課・経済振興課・まちづくり推進課		

スケジュール案

予算案

令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考 <b>地域活性化企業人制度（特交）</b> 300万円以上の支出で150万円特交措置  <b>えひめ人口減少対策総合交付金（申請中）</b> 県2/3 補助上限 500万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・STEAM+G教育カリキュラム、プログラム構築 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STEAM+G実践（地域限定）</li> <li>・山村留学試験実施（地域限定）5名想定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STEAM+G実践</li> <li>・山村留学本格実施（STEAM教育実施に加えて対象に高校追加）25名想定</li> </ul>	
STEAM費用 5,357千円	STEAM費用 1,000千円 留学奨励金 1,800千円	STEAM費用 1,000千円 留学奨励金 9,000千円	

# 「持続可能な学校づくり事業」の目的

## STEAM教育＋Gの実践

### 教育の魅力化

ジオの自然を活かしたSTEM教育

### 山村留学

地縁者のUターンによる移住促進

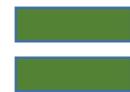
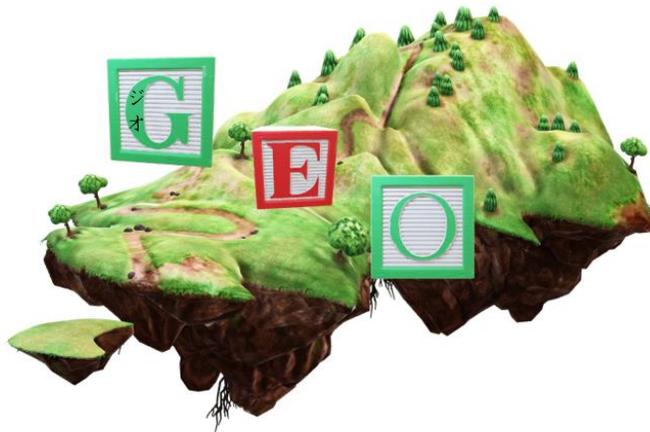
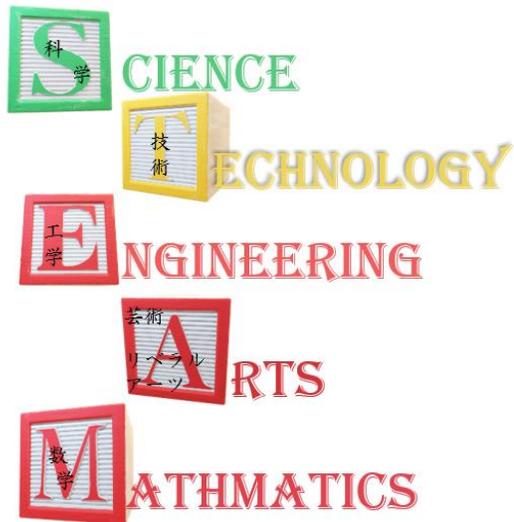
## 共生社会の実現による人口減少の緩和

- 郷土愛の醸成
- 持続可能な学校づくり
- ふるさと納税の増額
- 関係人口の創出
- 市内高等学校への進学数増

# STEAM+G教育の構築

STEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) 教育は、科学、技術、工学、芸術、数学を横断的に学ぶ教育手法。論理的思考を養い、IT社会に順応した人材を育てます。

STEAM教育にGEOを取り入れ、西予市ならではの教育プランを構築します。 <https://steam21.com/>



## 魅力ある学校教育

- ①課題を自らみつける力
- ②物事をさまざまな面からとらえる力
- ③新しい価値を創造する力



# STEAM教育を使ったジオ学習（将来）

## 従来のジオ学習



受身型！

ジオガイドさんの解説を聞きながらジオサイトを見学→関連施設を見学

例：三滝溪谷、下相の海底地すべり跡、地質館、城川歴史民俗資料館

[\(ジオパーク学習\(城川小学校4年生\)|活動アルバム|四国西子ジオパーク\(seiyo-geo.jp\)\)](#)

## STEAM教育版ジオ学習

「何を使ってもいいので、先生とクラスメイトにジオサイトのことをできるだけ詳しく教えてください！」

(注)パワポ、映像、模型など、手段を工夫すること。

例：樽滝

なぜあそこに滝ができたのか、模型を使って解説します！

自発型！



GEO …ジオサイトという題材

SCIENCE …滝ができる仕組みとは？

TECHNOLOGY …どのように作ろう？

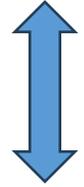
ART …よりリアルさを出すためには？

MATHEMATICS …材料はどのくらい必要？



# STEAM教育と西予市教育計画とのスケジュールの整合

**西予市教育大綱** 期間：2020年度（R2）～2026年度（R8）



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定により、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を、総合教育会議での協議を経たうえで、市長が定めるもの

**西予市教育振興基本計画** 期間：2020年度（R2）～2026年度（R8） R6一部改正

教育基本法第17条第2項の規定により、市の実情に応じた教育のための施策に関する基本的な計画

**西予市教育基本方針**

大綱及び基本計画を踏まえ、基本方針及び重点施策を**毎年度策定** R6策定済

**西予市STEAM教育 事業計画**

**R7年度 STEAM教育 準備・構築**

**R8年度 城川小中で実践**

**R9.3月には総合計画にあわせ大綱・基本計画改訂**

**R9年度 STEAM教育を西予市教育大綱・教育振興計画・基本方針に明記  
実践校の追加**

# 「山村留学」

県外に住んでいるお孫さんが、市内のおじいさんおばあさんと一緒に生活し、市内小学校へ通学してもらうことを推進します！

- ・血縁者の家に住ませることにより、寄宿舎の運営費用を必要としない。
- ・西予市に地縁のある児童生徒を対象とすることによる効果向上を見込む。
- ・おじいちゃん おばあちゃんを元気に！
- ・奨励金 1か月3万円(2カ月以上の留学を対象)



# 「血縁者を対象とすることによる効果」

## 費用対効果○

- 下宿寮などの施設整備や管理スタッフ配置が不要（事業リスクの軽減）
- 転入への働きかけのハードルが低い
- **デメリット** 対象を絞るため、移住者の総数は少なくなると予測

## 協働性◎

- 地域住民からの協力が得られやすい
- 地域と児童との親密化が期待できる
- 祖父母の生きがいづくりに寄与する

## 発展性◎

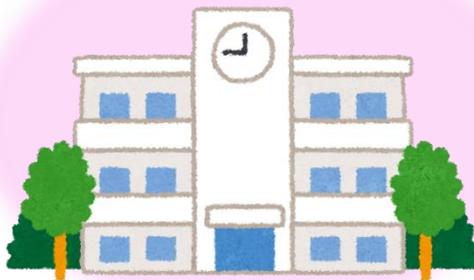
- 高校にも展開可能
- 寄宿舍等を設置しないため、エリアを限定せず、市内全域に展開可能

心理的ハードルが低い



子ども、保護者

児童生徒数増加、学校存続



学校

低コストで実施できる！



行政

# 先進事例

## ■ 血縁者等を対象とした山村留学 事例

○長野県下伊那郡天龍村 龍の子留学 [天龍村：天龍村龍の子留学制度の概要 \(vill-tenryu.jp\)](http://vill-tenryu.jp)

- ・親子留学 親子で移住し、村営住宅等に住みながら学校へ通う。月額最大8万円の支援
- ・孫留学 村内の祖父母等の自宅に村外に住む孫が移住し学校へ通う。月額最大3万円の支援

○長崎県壱岐市 いきっこ留学 [離島留学\[壱岐市いきっこ留学制度\] | いきしまぐらし \(ikishimagurashi.jp\)](http://ikishimagurashi.jp)

- ・しま親留学 子どもが単身で壱岐の家庭にホームステイ 月額最大4万円の支援
- ・孫戻し留学 島内在住の祖父母(親戚も可)の家にホームステイ 月額最大3万円の支援
- ・親子留学 子どもと親が移住する 月額最大3万円の支援

## ■ 「孫ターン（1世代飛越型Uターン）」事例

事業名	支援内容
高知市UI孫ターン支援事業費補助金	転入費用及び定住費用支援10～15万円
豊後高田市孫ターン奨励事業	奨励金10万円
会津若松市Uターン等移住給付金	単身移住 60万円、世帯移住100万円